

# 国際広報メディア・観光学専攻

## 観光創造研究コース

令和7年度  
後期

日本語論述

10:00～12:00

### 解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
2. 問題紙はこの紙を含めて2枚ある。
3. 解答用紙(25字×40行=1000字)は2枚ある。
4. 解答用紙は2枚とも必ず提出すること。
5. 受験番号はすべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
6. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
7. 下書き用紙は別途配布されるが、問題用紙の余白を下書きに使用しても差し支えない。
8. 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題について、1600～2000 字の日本語(横書き)で記述しなさい。なお、適当な箇所で改行して段落に分けること。また、字数は改行のための空気を含めて計算する。

2030 年に達成するために設定された「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs)」は、私達の生活のあらゆるものに関係しています。観光においても、持続可能な観光、自律的観光、CBT (コミュニティ・ベースド・ツーリズム) などが発展してきました。では、SDGs 達成目標年である 2030 年以降に、観光はどのように発展すると考えられますか。観光の「持続可能性」に配慮しつつ、具体例をあげながら、あなたの考えを論理的に述べてください。